

E-6

見てみよう 触れてみよう 南極の自然Ⅲ

皆さん、こんにちは!! さて、今日は一日南極観測隊員になって、南極を体験してみよう。南極の昭和基地は日本から南へ14,000km離れた所にあります。そして、南極へは飛行機と船を乗り継いで、約3週間かかって到着します。

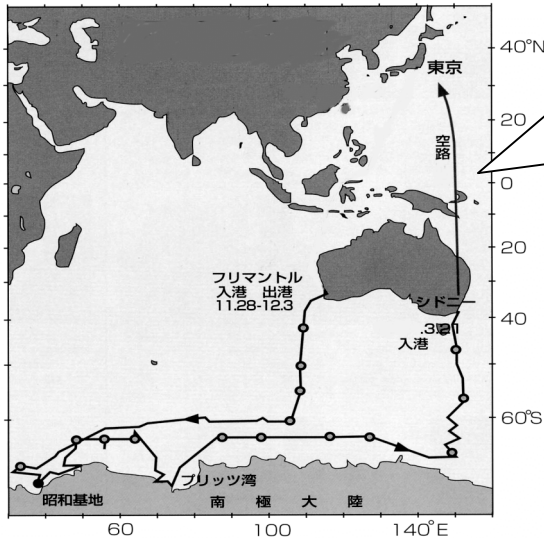


図1 南極昭和基地までの空路と航路

隊員は、成田空港からシドニーを経由して、フリマントルへ行きます。そして、砕氷艦「しらせ」に乗り、昭和基地へ行きます。

基地は管理棟を中心に、発電棟、居住棟、観測棟など、約50の棟があります。基地では最低気温 -40°C 、最大風速 45m/s を観測することもあります。



図2 南極昭和基地

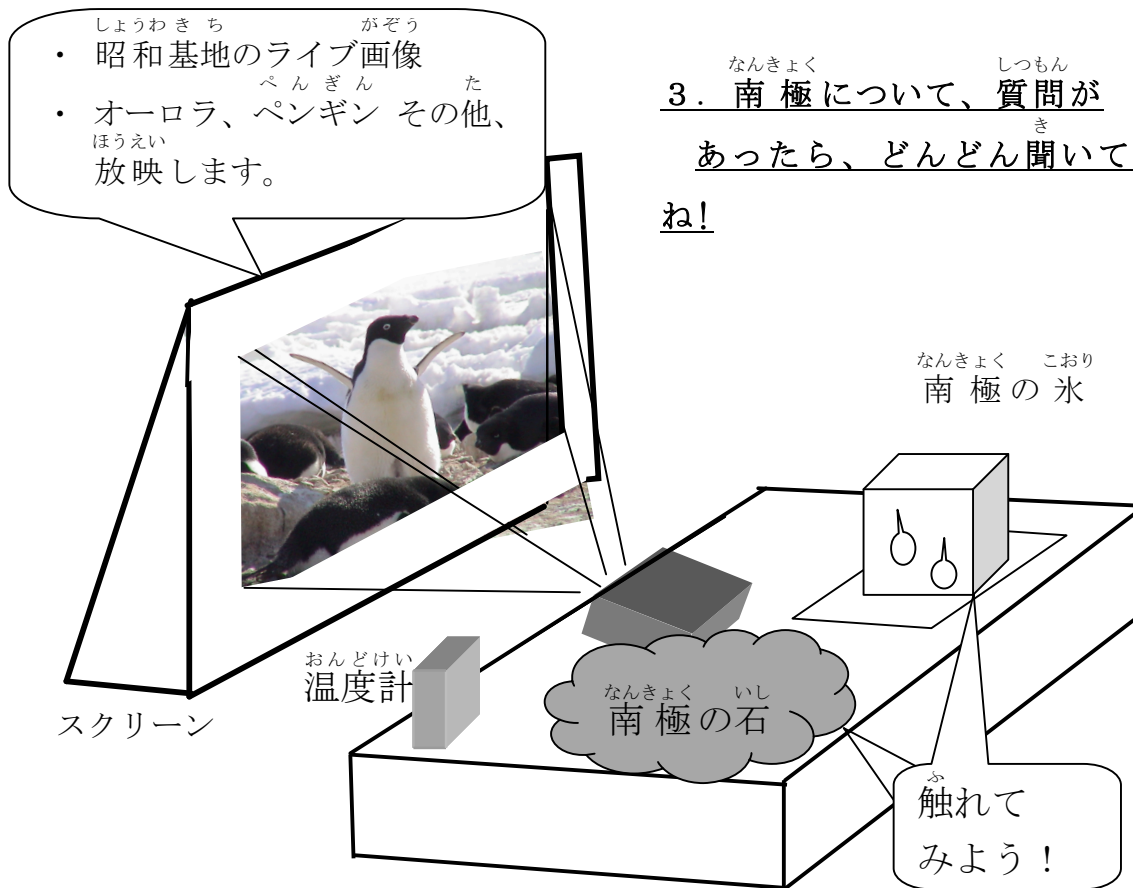
＜会場体験できること＞

1. 南極の氷山の氷や岩石に触れてみよう。

- (1) 氷の小さなかけらを水の中に入れてみよう。氷がとけると、氷に閉じ込められている大昔の空気の音が聞こえるよ。
(耳をすましてみよう、ピチピチ聞こえるよ)。
この空気を調べると、地球温暖化の原因を探ることができるんだ。
- (2) 石には、強い風によってできた、小さなクボミがあるよ。
(どうやって、できたのか調べてみよう)。

2. オーロラやペンギンをバックにして、記念写真を撮ろう。

南極観測隊のヘルメットや防寒服を着て撮るよ。



南極観測隊についてもっと知りたい方はこちらへ、
南極のホームページ <http://jare.nipr.ac.jp>

信州大学工学部 小林史利 (42次・南極観測越冬隊員), 松沢 清 (45次・同)
岡江真一 (45次・同), 川原琢也 (40次・同), 野村彰夫 (26次・同)
北原孝育 (岩村田高校・教諭)